



平成元年  
7月15日  
号 外

発行所  
広島県歯科医師  
政治連盟  
広島市中区富士見町11-9  
TEL (082) 241-4197  
編集兼発行人 青井隆男

◎不在者投票 投票当日、やむを得ない用務等で不在となる人は、投票日の前日までできません。  
(印鑑と通知書を持参)  
取扱時間 毎日午前八時三十分から午後五時まで  
場 所 選挙人名簿に登録されている区選挙管理委員会又はその区役所出張所  
(似島出張所を除く)

# 投票日は7月23日

## 参院選スタート

七月五日、第十五回参院選挙の公示が行われ、いよいよ十八日間に亘る激戦の火ぶたが切られておとされた。比例代表選では五十議席を五大政党及びその他三十五のミニ政党が名簿を提出。三百八十五人が争う事(七・七倍)となった。また、選挙区選は改選定数七十六を二百八十五人が出馬(三・七五倍)と、あわせて六百七十人が立候補をし、これまでの最高である。リクルート事件、消費税など国民の関心を大いに集めている今回の選挙は与野党逆転という、政治の流れを大きく変える可能性を秘めているが、自民党は非改選の七十三と合わせて過半数に必要な五十四議席以上、比例選十五、選挙区選四十を目指している。

### 投票は最小で最大の政治活動

自民党は七月五日の公示の前日、比例選における公認候補、現職十三人、新人十二人、計二十五人の名簿登載順位を発表した。宇野首相(総裁)自ら出席しての激論の末の結果であり、各候補それぞれ思惑を胸に秘めて参院選のスタートを切った。

この比例選の方式は、ベルギーの法学者ドントが考案した比例配分法を利用したものであり、ちなみに、前々回(五十八年)に行われた時の自民党の総得票数は一、六四〇万票であり、十九議席を確保している。今回の自

治省の発表した選挙人名簿をみると、有権者数は九、〇三二万七、二七六人となっている。一人でも多くの自民票を獲得したいところではあるが、リクルート問題や消費税導入などで選挙に対する国民の関心度が高まっており、油断出来ない状況に陥っているのが現状である。

政治とは国民一人ひとりが参加して作り上げるものであり、また、一人ひとりの主張と意見を表現し具現する場が選挙であり投票である。我々の主張を、希望を実現すべく活動してきた努力を無にしない為にも、最後のまとめとして投票という事を大事にしたいものである。投票は最小で最大の政治活動の場と言える。

民の好む所は之を好み、民の悪む所は之を悪む、政治にたずさわる者は人民の心を心とする気くばりを持たなければならない、と訴

### 自民党比例選 名簿決める

比例代表名簿順位次の通り(敬称略)

- ①清水 嘉与子(53) 新、前厚生省看護課長 (安倍派)
- ②八代 英太(52) 現、参院社労委員長 (旧中曾根派)
- ③岡野 裕(62) 現、前沖繩開発政務次官 (竹下派)
- ④山岡 賢次(46) 現、前法務政務次官 (安倍派)
- ⑤井上 章平(59) 新、元建設事務次官 (竹下派)
- ⑥石川 弘(60) 新、前農水次務次官 (宮沢派)
- ⑦須藤 良太郎(56) 新、前農水省構造改善局長 (竹下派)
- ⑧成瀬 守重(56) 新、世界救世教教育政治委員長 (安倍派)
- ⑨大浜 方米(61) 現、党参院国対委員長 (竹下派)
- ⑩尾辻 秀久(48) 新、鹿児島県遺族会会長 (河本派)
- ⑪木暮 山人(61) 新、日本歯科医師政治連盟顧問 (安倍派)
- ⑫石井 道子(56) 現、前環境政務次官 (宮沢派)
- ⑬田村 秀昭(56) 新、元航空自衛隊幹部学校長 (竹下派)
- ⑭伊江 朝雄(68) 現、党総務 (竹下派)
- ⑮柳川 覚治(63) 現、参院議環境理事 (旧中曾根派)
- ⑯扇 千景(56) 現、党婦人局長 (安倍派)
- ⑰増岡 康治(64) 現、党参院政審会長代理 (竹下派)
- ⑱榑崎 泰昌(60) 新、元北海道開発政務次官 (宮沢派)
- ⑲吉村 真事(61) 現、大蔵政務次官 (安倍派)
- ⑳佐藤 欣子(55) 新、弁護士 (旧中曾根派)
- ㉑海江田 鶴造(66) 現、党内閣副会長 (竹下派)
- ㉒矢野 俊比古(65) 現、参院大蔵省理事 (竹下派)
- ㉓寺内 弘子(53) 現、沖繩開発政務次官 (旧中曾根派)
- ㉔藤江 弘一(59) 新、元総務事務次官 (旧中曾根派)
- ㉕菊池 淳(56) 新、参院自民党事務局局長 (無派閥)

### 棄権防止

(投票方法)

選挙区は 個人名を  
比例代表区は 政党名を

記入すること

小さな努力で

大きな実り